

科目名	電気情報工学ゼミナール	英語科目名	Seminar in Electric and Information Engineering	
開講年度・学期	平成 28 年度通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻 電気情報工学コース 1 年	
授業形態	演習	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (講義 B・演習)	
担当教員	担当教員	居室 (もしくは所属)	担当教員の居室	
電話	担当教員の内線	E-mail	担当教員@小山高専ドメイン	
授業の到達目標		授業の到達目標との対応		
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 問題意識を持って事に当たり、自らその解決方を調査・検討できる。		⑤	E	d-2, d-4, f, g
2. 英語論文等、国際的なジャーナルを解説・調査した内容に基づいた討論・主張等を展開し、その要点を整理できる。		⑤ ⑥ ○	E	d-2, d-4, f, g
3. 調査結果をまとめ、かつ他人に伝達することができる。 (個別の詳細な到達目標はゼミナール毎に設定する。)		⑥	E	d-2, d-4, f, g
<b>各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>				
到達目標 1: テーマに関する適切な教材の入手および活用要領を評価し、60%以上の評価で達成とする。 到達目標 2: 論理の展開に筋道を立て、要点を整理する能力を評価し、60% 以上の評価で達成とする。 到達目標 3: 発表方法を選択し、自分の主張を第三者に正しく伝えるコミュニケーション能力を評価し、60% 以上の評価で達成とする。 (個別の詳細な評価方法はゼミナール毎に設定する。)				
<b>評価方法</b>				
テーマに関する適切な教材の選択要領および理解度、発表方法・要領・内容について理論的、技術的観点から総合的に評価する。 (個別の詳細な評価方法はゼミナール毎に設定する。)				
<b>授業内容</b>				
基本的には、特別研究・指導教員の指導の下に実施する。 テーマ例は以下の通り。 ○仮想現実のインタフェース特性とネットワーク技術と特性解析(石原) ○音響波動・電磁波に関するゼミ(鈴木) ○光共振器設計法、レーザダイナミクス(土田) ○自律移動ロボットのナビゲーション法に関するゼミ (ラホック)				
キーワード	仮想現実、インターネット、ネットワーク、ヒューマンインタフェース、移動ロボット、自己位置推定法			
教科書	担当教員の指示による			
参考書	担当教員の指示による			
<b>カリキュラム中の位置づけ</b>				
前年度までの関連科目	すべて			
現学年の関連科目	すべて			
次年度以降の関連科目	すべて			
<b>連絡事項</b>				
1. 配属された研究室の指導教員の指導の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。 2. ゼミナールの内容は特別研究を遂行する上で基礎となるものであるから、各分野における理論的・技術的背景を理解するとともに、研究へのアプローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。				
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 29 日作成			